



## 介護！防災！教育！ 地域共生のまちづくりについて

議会改革ネットワーク ● 赤祖父 ゆみ 議員

**第7期介護保険計画による地域包括ケアシステムの進め方**

**問** 地域包括センターの具体的な進め方は。

**答** 直営で1か所、夏見保健センター内に設け、職員6人を配置。野洲川を挟み、北と南の地区担当制を引き、2チーム体制とします。高齢者支援センターを廃止して、新たに市内法人から出向職員を迎える事としています。将来的には中学校区に広げるよう考えていきたい。

**問** 支え合いの地域づくりはどのように進めますか。

**答** 市では、まちづくり協議会ごとに、地域の人材の中から生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）一名を配置し、その推進員を中心に地域の多様な主体を巻き込みながら進めていきたい。

**防災・減災対策の検証について**

**問** ふるさと防災チームでの地区防災計画の策定現状は。

**答** 現在は三雲区、山台区、ハイウェイサイドタウンの3区です。

**問** 自助の啓発のためにもDIGの出前講座は必要ではないか。

**答** 担って頂けるよう努めていきます。

**教師の超過勤務施策**

**問** クラブ活動顧問の外部講師採用と市立中学校でのクラブ活動の考え方は。

**答** 新たに2名の講師採用を予定しています。クラブ活動は非認知能力を高めるもので、アスリートを育てるものではないと考えます。



安心して地域で暮らすために

## 子どもの命と育ちに責任ある 保育士の処遇改善を

日本共産党湖南省議員団 ● 松井 けい子 議員

**問** 保育職員の臨時・嘱託職員の数と実態は。

**答** 臨時職員は118人、嘱託職員は61人。早朝・延長保育の希望者の増加や土曜保育実施などにより、正職員だけでは対応できません。

**問** 臨時・嘱託職員でクラス担任を持ち正職員と同一労働の方は。

**答** 平成28年度9人、平成29年度は10人です。

**問** 乳幼児の日々の発達に関わる専門職で、保護者との信頼関係や集団の力量が求められ、安定した雇用が必至。正職員化や処遇改善は。

**答** 賃金改善の検討は必要。正職員の補充は財政的な事もあるので今後検討します。

**医療的ケアの必要な子どもの通学保障は。**

**答** 保護者の身体的・精神的・経済的負担が大きい。県に早期制度化を求めています。

**携帯電話・パソコン・ゲームなどの影響は。**

**答** 1日の使用状況は小学生で1〜2時間、中学生で2時間半という調査結果。過度な使用による健康面や学習面への影響に危惧する。健康被害、犯罪に巻き込まれる恐れがあることや正しい使用方法について学習しています。

**問** エナジードリンクは、カフェインを多く含み、依存に繋がる危険もある。児童生徒や保護者への対応は。

**答** 健康の維持促進のための正しい知識を学ぶ際にエナジードリンクの危険性も学べるようにしていきます。



医療ケアが必要な子どもさんの通学の様子